

ほりぞえ健^{けん} ニュース

川崎市高津区下作延4-22-12

電話&FAX 044-877-6317

ホームページ <http://www.horizoe.com>

電子メール horiken@horizoe.com

これからの川崎市政 未来へ投資する社会へ

2) すでに実質的に減り始めた予算と急増する福祉費。

(事務局)

川崎市ではまだ人口増が続いていますが、同時に急速に高齢化していくことが予測されています。こうした状況を踏まえ、私たちはどのように対応することが必要でしょうか。

(堀添)

はい。まずは、こうした変化が川崎市政にどのような影響を与えているかを直視しなければなりません。

私が市議会議員に初当選した平成15年度の川崎市の一般会計は5625億円でした。これが平成24年度には5707億円となっていますので、9年間で82億円増えたこととなります。他方で、この間の人口動態をみると、129万人から144万人へと15万人増えています。つまり人口は11.6%増えているにもかかわらず、予算は1.5%しか増えていませんので、結果として市民一人当たりの額は10%近くも減っていることとなります。

(事務局)

厳しい感じはしていましたが、すでに実質的な歳入はずいぶん減っていますね。歳出面ではどうでしょうか。

(堀添)

主に福祉に使われる民生費を見ると、1395億円から2100億円へと、9年間で50%も増えています。この間、川崎市独自の福祉サービスはかなり廃止・縮小がされてきましたが、それでも福祉予算の総額は大幅に増えています。

(事務局) まだ行革が足りていないということでしょうか。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブナーイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

(堀添)

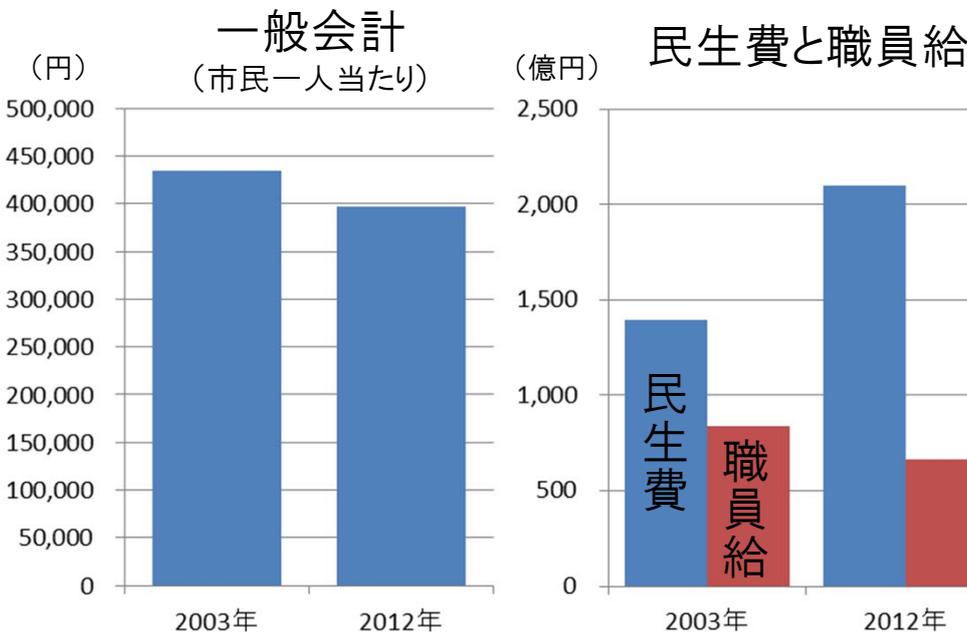
たとえば職員給をみると、9年間で22%削減されています。市民数が約12%増えたことによる業務量増大を考えると、いわゆる行財政改革的な手法では、すでに限界に近づいているように思います。

これから川崎市でも急速に進む高齢化や、そのあとに到来する人口減・税収減にどう対応するのか。自治体としてのあり方が問われています。

(事務局)

ありがとうございました。

(次号に続きます。)



あなたのご意見をお教えてください。

私たちの川崎市にも多くの課題があり、一つ一つに丁寧に取り組んでいかなければならないと思います。これからの川崎市のあり方について、あなたのご意見をお教えてください。

FAX送付先：044-877-6317

(記入例)

川崎市に生涯住み続け
ていくつもりだ。



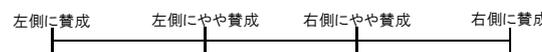
機会があれば市外に
転居したい。

行政区ごとの違いや特色
にもっと対応すべき。



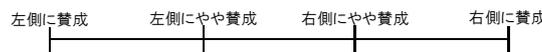
川崎市としての政策の一
体性を強めていくべき。

街としての活気を保つた
めにも、今後ともゆるや
かに人口増が続くことが
望ましい。



緑地等の保全を優先すべ
きであり、これ以上の人
口増はできるだけ抑制す
べき。

町内会や自治会など地域
コミュニティの強化が必
要である。



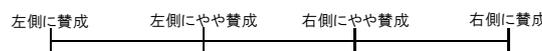
都市型の生活スタイルで
は、地域コミュニティの
必要性は感じられない。

川崎市議会も議員定数の
削減などにより議会運営
に必要なコストをさらに
削減すべき。



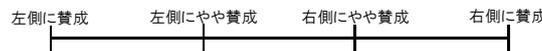
川崎市議会の政策立案や
行政チェック機能を強化
するために市議会の態勢
をさらに整備すべき。

川崎市議会主催の報告会
やタウンミーティングも
行うべき。



市議会報告は個々の議員
や政党・会派で行う方が
良い。

少子化対策のためにも、
子育て支援策を重視すべ
き。



生涯にわたって安心して
住み続けられるために高
齢者福祉を重視すべき。

川崎市政や政治全般に関するご意見をお教えてください。

